

お知らせ

1月にお誕生日を迎える皆さん、心からお祝いいたします。

1日・高木はつ江 8日・韓なるみ 13日・韓莊守

14日・松島スヤンティ、16日・北原孝子、16日・栗木恵美子

教会の働き

2026年 最初の主日を迎えて

新しい年の最初の主日を、主の御前に共に集い礼拝できる恵みを心から感謝いたします。すべての時を支配しておられる主が、今年も私たちの歩みを導いてくださることを信じます。2026年も、主の御心を求め、御言葉と祈りに立ち、神の計画の中を信仰をもって歩む教会でありたいと願います。主の平安と祝福が、皆さまお一人おひとりごと家庭の上に豊かにありますように。

- 1月5日～7日 つま恋リゾートにて開催される宣教大会(主催:在日基督教連合会)に、柳師ご夫妻が参加します。
- 今日主日愛餐会後すぐに女性宣教会役員会をします。
- 1月8日～9日 聖契神学校のスクーリングに柳師が参加します。
- 1月15日 男女宣教会の新年会があります。
会場はとんどんこい、午後6時30分からです。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。



神の計画の中を歩む教会

エレミヤ書 29章11節

わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。それはわがわがではなく、平安を与える計画であり、将来と希望を与えるためのものだ。

聖餐式・招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを願っている者は、全てのこの聖餐に招かれています。

いずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきであります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るように祈ります。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 北原明子(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 松島スヤンティ(祈祷)

水曜礼拝 休み(宣教大会参加)

2026年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされるように。

週報 2026-1号

2026.1.4

神の計画の中を歩む教会

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード 韓芽唯

信仰告白 (使徒信条)

代表祈禱 鈴木真由美

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

ハッピーチーム

聖書箇所 エレミヤ書 29 章 11 節

(神の計画の中を歩む教会)

メッセージ 柳承吉牧師

聖餐式 讃美歌 205

賛美 神の家族

祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード 韓芽唯

代表祈禱 熊谷茂美

聖書箇所 第二コリント 4:16

メッセージ (日々新しく I) 柳 承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会

代表祈禱

聖書箇所 お休み(宣教大会参加)

メッセージ

主の祈り

今週の御言葉 「神の計画の中を歩む教会」

エレミヤ書 29 章 11 節

愛する聖徒の皆さん、新年の始まりは、いつも期待と希望を抱かせます。「今年はうまくいきそうだ」「新しいチャンスがあるかもしれない」そのような思いが心に浮かぶ一方で、不安や重荷、解決されていない課題や、昨年から持ち越した祈りの課題を抱えている方も多いことでしょう。そのような私たちに、聖書は大切な問いを投げかけます。「私は今、だれの計画の中で生きているのか。」「教会は、何に従い、どこへ向かって歩んでいるのか。」

この問いは、新年の出発点がどこにあるのかを問う、信仰の問いです。だからこそ、新年の始まりに最も大切なことは、「何をするか」を決めることだけでなく、「だれの計画の中に立っているのか」を明確にすることです。

私たちは今日、こう告白したいのです。「主よ、私たちの計画ではなく、主のご計画の中でこの一年を始めたいのです。」

エレミヤ 29:11 の言葉が語られた背景は、決して明るいものではありませんでした。当時、イスラエルの民はバビロン捕囚の中にあり、国も神殿も失い、「神は本当に共におられるのか」と信仰の根が揺さぶられる現実の中にありました。そのような時、神はこう語られます。「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。」民は現実を見て「終わりだ」と思ったかもしれませんが。しかし神は、その現実の向こうに、ご自身の主権的な計画を見ておられました。捕囚の期間さえも、神の御手の中にあつたのです。そして主は言われます。「それはわざわざではなく、平安を与える計画であり、将来と希

望を与えるためのものだ。」人の目には災いに見える出来事も、神の目には回復へ向かう道でした。終わりに見える時も、神のご計画の中では新しい始まりを備える時なのです。

神が語られる「計画」は、私たちが考える人生設計や成功戦略とは異なります。それは、神の主権に基づく計画であり、神のきよさと愛が共に込められた計画であり、神がご自分の民を回復へ導かれる救済史的な計画です。

ここで語られる「平安(シャローム)」とは、問題がなくなる状態ではありません。神との関係が回復され、神の御手の中にあると確信して生きる状態です。だから神の計画の中心は、私たちを神と共に歩む者として造り上げることにあります。

2026 年、私たちの教会が握る目標は一つです。

「神の計画の中を歩む教会」。

教会の主はイエス・キリストであり、教会の未来は神の御手の中にあり、教会は神の救いのご計画に参加する共同体であります。この信仰告白の上に、私たちは三つの祈りをもって 2026 年を歩みます。第一に、神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会となること。第二に、次世代が主に召され、信仰に立つ祝福。第三に、福音に献身する者と次世代リーダーが起こされることです。

2026 年へ踏み出す私たちの人生も、教会の歩みも、すでに神の計画の中に置かれています。私たちはこの約束の御言葉を握ります。「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。」

恐れより信仰を選び、私たちの計算より神の導きを信頼しながら、神の計画の中を歩む 2026 年を、信仰をもって共に始めましょう。